

平成27年度

徳島県立中学校
生徒募集選抜要項

(案)

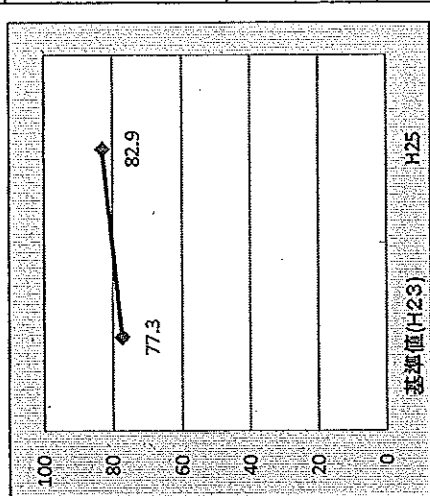
徳島県教育委員会

第5章 平成26年度（平成25年度対象） 点検・評価結果

徳島県教育振興計画(第2期) 平成25年度 成果指標進捗状況等(平成26年3月末時点)

基本方針1 新たな価値を創り出し、未来へ飛躍する人を育てる教育の実現

番号	推進項目	事業目的	取組状況(H25年度分)	評価	今後の取組方針																		
1	キャリア教育の推進体制の確立及び充実 キャリア教育推進指針の策定・推進	事業目的 本県学校におけるキャリア教育の課題を解決するために、各学校がキャリア教育を推進する上で指針となる「徳島県キャリア教育推進指針」を策定し、学校におけるキャリア教育の推進を図る。	取組状況(H25年度分) (単位：－) <table border="1"> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>策定</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>策定</td> <td>推進</td> </tr> </table>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	-	策定					達成	策定	推進	評価 学校関係者・経済団体・有識者等から組織する「徳島県キャリア教育推進協議会」を設置し、学校がキャリア教育を推進する上で指針となる「徳島県キャリア教育推進指針」の策定を行った。	今後の取組方針 「徳島県キャリア教育推進協議会」での協議内容に基づき、学校におけるキャリア教育を推進する上で指針となる「徳島県キャリア教育推進指針」を策定することができた。
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)															
-	策定					達成	策定	推進															
2	キャリア教育の推進	事業目的 児童生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、県下全域における職場体験やインターンシップの取組を推進する。	取組状況(H25年度分) (単位：%) <table border="1"> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>77.3</td> <td>82.9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>75</td> <td>80以上</td> </tr> </table>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	77.3	82.9					達成	75	80以上	評価 「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」の内容のさらなる充実を図るとともに活用について周知する必要がある。「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」の「教職員の負担」「体験時間・日数の確保」等の課題「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」利用を促進するためにリーフレットを作成するとともに、インターンシップ等体験的活動の受入先企業の新規開拓や企業が継続して受け入れてくれるように企業への啓発リーフレットを作成する。また、インターンシップの円滑な実施に向け、手引き書を作成する。	今後の取組方針 「あわ教育サポーター企業等データベースシステム」を構築した。
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)															
77.3	82.9					達成	75	80以上															



番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況・評価、今後の取組方針																		
3	キャリア教育の推進	キャリア発達を促すための体験的な活動の推進 公立中学校における職場体験の実施率 96.5 100.0 H25 基準値(H23)	事業目的と平成25年度の取組状況・評価、今後の取組方針 児童生徒の社会的・職業的自立に向けた基礎的な能力の向上や勤労観・職業観の育成を図るため、県下全域における職場体験やインターンシップの取組を推進する。 各市町村教育委員長や中学校長が集まる会において、職場体験の必要性を伝えるなどして職場体験実施に向けた依頼を行った。また、徳島県中小企業家同友会と職場体験等の推進に係る連携協定を締結するとともに、職場体験受入先企業に関するデータベースである「あわ教育サポーター企業等データベース」を構築した。 (単位：%) <table border="1"> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>96.5</td> <td>100.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>98</td> <td>100</td> </tr> </table> (成果) これまでの啓発活動により、職場体験実施率は100%となった。今後はこの実施率を継続させていきたい。 (課題) 職場体験実施には、「受け入れ先の開拓や連絡」「教職員の負担」「体験時間・日数の確保」等の課題があり、「あわ教育サポーター企業等データベース」の内容のさらなる充実を図るとともに活用について周知する必要がある。 「あわ教育サポーター企業等データベース」利用を促進するためにリーフレットを作成するとともに、職場体験等体験的活動の受入先企業の新規開拓や企業が継続して受け入れてくれるように企業への啓発リーフレットを作成する。また、職場体験の円滑な実施に向け、手引き書を作成する。	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	96.5	100.0					達成	98	100
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
96.5	100.0					達成	98	100													
4	キャリア教育の推進	産学官連携・高大連携の推進 産学連携事業実施校数(累積) 3 6 H25 基準値(H24)	事業目的と平成25年度の取組状況・評価、今後の取組方針 専門教育の一層の高度化を図るため、企業や大学、県の試験研究機関等と協働した施策や事業を積極的に挙げる。 阿南工業高校、吉野川高校、三好高校の3校で各企業や団体等から原材料や技術を提供してもらい、阿南工業高校では球体型バーサラライト、吉野川高校はペラを活用した押し花アートによる地域活性化及び商品開発、三好高校はそば裁培の技術指導及び商品開発等積極的な連携を進めることができた。 (単位：校) <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>6</td> <td>18</td> </tr> </table> (成果) 本事業により、専門高校の生徒の創造力や専門的技術・技能を生かした実践的な取組を行うことができ、専門的な技術・技能の深化を図ることができた。 (課題) 本事業の一層の推進に向けて、多くの専門高校が、企業や大学、県の試験研究機関等と連携を深めることができ、平成26年度については、阿南工業高校、吉野川高校、三好高校の3校が認定され、事業の取組中である。累積で9校の取組を予定している。	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	3	6					達成	6	18
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
3	6					達成	6	18													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
5	キャリア教育の推進	<p>産学官連携・高大連携の推進 大学から高校へ・出向きを行う出張講義や大学において行う高校生対象の講義・実験・実習等の実施</p>	<p>徳島県内の大学と徳島県教育委員会の連携に関する連絡協議会における大学・学校間連携部会としての、県内5大学の「県内5大学出張講義一覧」を総合教育センターホームページに掲載し、大学と高等学校の連携を強化することで、キャリア教育の推進を図る。</p> <p>県内5大学の「県内5大学出張講義一覧」を総合教育センターホームページに掲載し、各高等学校に積極的な利用を推奨した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>(単位：－)</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>－</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 各高等学校で、合計211講義の積極的な活用がなされた。</p> <p>評価 (課題) 高等学校のニーズと大学が提供する講義のマッチングをさらに図っていく必要がある。</p> <p>今後の取組方針 毎年度「県内5大学出張講義一覧」を更新して、各高等学校に広報していきたい。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	－	推進						推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
－	推進						推進	推進													
6	グローバル化に対応した教育の推進	<p>担当課 学校政策課</p> <p>施策・成果指標 外国語(英語)教育・国際理解教育・国際交流の推進 海外からの教育旅行受入推進、短期語学研修や長期留学の推進、学校内における国際理解教育の推進</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>外国語(英語) 教育の充実や国際交流の推進により、児童生徒のグローバルマインドを育成する。</p> <p>「グローバルチャレンジ支援事業」により、小学生には外国語指導助手(ALT)とのデイキャンプ、中学生には海外語学研修の支援、高校生にはニードラーサクセン州との生徒間交流を実施し、日本人としてのアイデンティティを育成するとともに、体系的に英語を学ぶ機会を提供してグローバルマインドを育成した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>(単位：－)</caption> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>－</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 児童生徒が体験的に英語を学ぶ機会を提供し、国際理解教育・国際交流の推進を図ることができた。また、新学習指導要領を円滑に実施するため、各学校での英語指導改善を図ることができた。</p> <p>評価 (課題) 今後は、高校生の海外留学促進に加え、県内で高校生が疑似留学体験できる機会を創設する必要がある。</p> <p>今後の取組方針 高校生が英語で体験的に学ぶ機会を拡充するため、高校生が県内で疑似留学体験できる機会を創設したり、海外留学(短期派遣及び長期派遣)する高校生数の増加を図る。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	－	推進						推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
－	推進						推進	推進													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																				
7	多様なニーズに対応した学習機会の提供 多様なグローバル化に対応した教育の推進	帰国・外国人児童生徒に対する教育の充実 日本語教育支援の実施及び異文化に対する相互理解教育の推進 担当課 学校政策課	<p>事業目的 帰国・外国人児童生徒に対して行う日本語指導は、現行制度の下では教育課程に位置づけられていないため、帰国・外国人児童生徒への支援については、地域や学校、児童生徒の実態等によって、指導内容や指導体制が大きく異なっている。県内の日本語教育に関係機関が、このような児童生徒に対して一定の質が担保された日本語指導を受けることのできる支援体制整備の構築を図る。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <p>「帰国・外国人児童生徒“いきいき”モデル事業」により、日本語指導を必要とする帰国・外国人児童生徒に対して日本語講師を学校に派遣し、日本語学習の支援を行った。また、日本語教育に関わる市民団体や国際交流協会、大学と連絡協議会を開催し、帰国・外国人児童生徒への効果的な支援の在り方等について協議を行い、支援体制の充実を図った。さらに大学と連携し、大学の留学生を学校へ派遣し国際理解を深める交流授業を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：人)</p> <p>(成果) 県内すべての関係機関のネットワークが構築された。学校に日本語指導が必要な児童生徒が転入してきた際に必要な支援が実施できるようになった。</p> <p>評価 「課題」日本語指導ができる人材の育成が必要である。外国人児童生徒の転入は、突然来ることが多い。</p> <p>今後の取組方針 日本語指導が必要な児童生徒への支援だけでなく、これからのグローバル社会に向けて、徳島大学や専門教育大学と連携し、留学生を活用した異文化理解教育を進める。今後は新たに「帰国・外国人児童生徒支援事業」を実施し、日本語講師、通訳講師を配置する学校の拡充や日本語講師の指導力向上を図るための研修の実施等により帰国・外国人児童生徒への更なる支援を図る。また、今後も県内の大学や国際交流協会と連携を密にし、支援体制の更なる充実を図る。</p>	基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)		推進								推進
基準値		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)														
	推進								推進														
8	I C T 活用能力の育成	I C T を活用した教育の推進 I C T を活用した授業実践の研修参加者数(累計) 担当課 総合教育センター	<p>事業目的 学校においてICTを活用した教育の推進が図られるよう、総合教育センターで実施する研修において、教職員がICTを活用した授業等を実践し、児童生徒が自ら、また協働して学習できる環境等を作るためのスキル及び意識の向上を図る。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 初任者研修, 10年経験者研修において、授業でのICTの活用方法等に関する研修を実施した。(各1日) 2 希望研修において、学校でのICT活用を想定した研修講座を実施した。(7講座8回) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>831</td> <td>1,208</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>1,200</td> <td>2,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：人)</p> <p>(成果) 文部科学省「教育の情報化に関する手引」に示された、「教員に必要となるICT活用指導力」の内容に沿った研修を実施したことにより、授業におけるICTの活用について、理解とスキルを深めることができた。</p> <p>評価 「課題」文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」(平成25年3月実施)において、本県の教員のICT活用指導力に関して、「ややまやま」と回答した本県の教員の割合は80.1%であり、全国平均(67.5%)を上回っているものの、今後もこの割合の向上が求められる。希望研修, 10年経験者研修において、デジタル教材の作成やICT活用を取り入れた模擬授業形式の研修を行う。</p> <p>今後の取組方針 1 初任者研修, 10年経験者研修において、デジタル教材の作成やICT活用を取り入れた模擬授業形式の研修を行う。 2 希望研修において、学校のニーズが高い講座を開講するとともに、定員を拡充する。</p>	基準値(H24)		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)		831	1,208					達成	1,200	2,800
基準値(H24)		H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)														
	831	1,208					達成	1,200	2,800														

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																										
9	スポーツ文化の創造	競技スポーツの振興 国民体育大会天皇杯順位の向上 担当課 県民スポーツ課	<p>事業目的的にジュニア選手の競技力の向上を図るため、県体協、県教委及び競技団体との連携を密に図り、発達段階に応じた「一貫指導システム」の構築と「優秀な指導者の養成」を目指す。</p> <p>平成21年度から実施している「徳島育ち競技力向上プロジェクト」において、優れた素質を持つジュニア選手の発掘からトップアスリートまで切れ目のない強化体制を構築するため、「競技者育成プログラム」の普及及び一貫指導を実施する体制の整備を着実に図っている。平成25年度は、23の競技団体が「育成プログラム」を作成及び修正することにより実施した。</p> <p>さらに、国体選手の競技力向上のため、成果指向型の選手強化に努めるとともに、ドクターやトレーナー及び栄養士等によるサポートやメンタルトレーニング等に対処する積極的な研修等、医科学面からのサポート体制を充実させることにより、基礎強化を図った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="7">(単位：位)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>45</td> <td>47</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>未達成</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>30位台</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>30位台</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>30位台</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 国体をはじめとする全国大会や国際大会において、高校生の上位入賞が定着しつつある競技・種目の増加傾向が見られる。</p> <p>(課題) 組織力や運営能力が未成熟な競技団体を継続的に育成・支援することにより競技力の底上げを図るとともに、さらに指導者の資質向上の啓発を行い競技団体と連携・協働していく必要がある。</p> <p>今後の取組方針 ジュニアからシニアまでの一貫した指導により、将来オリンピック出場が可能なトップアスリート選手の育成を目指す「一貫指導システム」の構築と「トップ指導者の養成」を継続するとともに、競技スポーツにおける成果指向型の選手強化を図り、更なる競技力向上を進める。</p>	(単位：位)							基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	45	47					未達成							30位台							30位台							30位台
(単位：位)																																													
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)																																							
45	47					未達成																																							
						30位台																																							
						30位台																																							
						30位台																																							
10	スポーツ文化の創造	競技スポーツの振興 専門渦潮高校のスポーツ科学機器を活用した体力測定人数 担当課 体育学校安全課	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>県内トップ選手の体力を総合的に診断し、得られたデータを科学的に分析しトレーニングに活用することで競技力の向上を図る。</p> <p>大学や県トレーナー協会、スポーツ栄養士協会と連携を強め、競技者の体力を「総合的」に診断し、競技力向上のサポートを行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="7">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>250</td> <td>328</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) スポーツ指定校をはじめ、県内高校の運動部に「体力診断」が定着しつつある。</p> <p>(課題) 蓄積したデータを大学等の専門機関と連携して分析し、多くのアスリートが活用できるようにする。</p> <p>今後の取組方針 今後も継続して測定を行うとともに、今までに得られたデータを分析し県内の競技者にフィードバックすることで科学的トレーニングの一助とする。また、平成26年度からジュニア選手100名、トップアスリート200名の測定を行うこととし、測定対象をジュニア選手まで拡大することで、才能ある競技者の発掘を行う。</p>	(単位：人)							基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	250	328					達成							300							300							300
(単位：人)																																													
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)																																							
250	328					達成																																							
						300																																							
						300																																							
						300																																							

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																														
11	スポーツ文化の創造	スポーツを通じた幸福で豊かな生活の創造 徳島県スポーツ推進計画の着実な推進 担当課 県民スポーツ課	<p>少子高齢化の進行や高度情報化社会の進展など、近年の社会環境や生活様式の急激な変化により、スポーツや運動をする機会が減少し、体力・運動能力の低下のみならず、メタボリック・シンドロームや心の病の増加、人間関係の希薄化、地域間格差の拡大など様々な課題を生じさせている。こうした状況の中、本県スポーツを取り巻く社会の現状と課題を踏まえ、今後の本県スポーツ推進の基本的な方向性を示すものである。</p> <p>50年ぶりに全面改正された「スポーツ基本法」が平成23年8月に施行され、平成24年3月には、国の「スポーツ基本計画」が策定されたことに伴い、平成25年3月に策定した「徳島県スポーツ推進計画」の進捗状況を審議するため、平成26年3月に「徳島県スポーツ推進審議会」を開催した。</p> <p>県下全域で4,000人の県民を対象としたスポーツの実施に関する県民アンケート調査結果をとりまとめ、各市町村に情報伝達するとともに、地域の実情に即した「市町村スポーツ推進計画」の策定について働きかけを行うため、平成25年7月に「スポーツ推進・市町村担当課長会議」を開催した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5" style="text-align: center;">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推進計画の策定</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 市町村ごとのスポーツ活動の実態を把握することができ、市町村との連携した取組の強化につながった。</p> <p>(課題) 県、市町村、スポーツクラブ、大学、医療機関等、多様な主体が一層連携していく必要がある。</p> <p>県、市町村、県体育協会、総合型クラブ等と一層の連携を図りながら、計画的・効果的な施策を推進していく。</p> <p>今後の取組方針</p> <p style="text-align: center;">事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校で文化芸術活動に関する授業ができる芸術家や団体に「文化教育人材バンク」に登録してもらい、計画的に登録者を増やすとともに、学校に周知することで、芸術家等と学校をコーディネートし、地域及び学校における文化教育の活性化を目指す。</p> <p>1年を通じて「文化教育人材バンク」への追加登録に努めるとともに、年度末に既登録者に対する登録継続の確認を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="5" style="text-align: center;">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>160</td> <td>183</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">達成</td> <td>165</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 「文化教育人材バンク」の登録者数の拡大に努めるとともに、文化庁事業・県費事業の募集中時には、バンクが利用できることを周知した結果、多くの学校がバンク登録者を活用することができた。</p> <p>(課題) 登録者数を増やしても、学校が希望する芸術家等の活動が固定化される傾向があるため、幅広い登録者の活動につながるよう、多様なジャンルの周知に努める必要がある。</p> <p>「文化教育人材バンク」が学校現場でより一層活用されるよう、芸術家等と学校のニーズを把握しながら、新規開拓に努める。</p>	(単位：人)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	推進計画の策定	推進					/	推進	推進	(単位：人)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	160	183					達成	165	180
(単位：人)																																																	
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																									
推進計画の策定	推進					/	推進	推進																																									
(単位：人)																																																	
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																									
160	183					達成	165	180																																									
12	伝統文化の継承と文化芸術の創造	文化芸術活動の推進 学校で文化芸術活動に関する授業ができる芸術家や団体の登録数 担当課 教育文化政策課	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">(単位：人)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>達成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>160</td> <td>183</td> <td style="text-align: center;">達成</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 「文化教育人材バンク」の登録者数の拡大に努めるとともに、文化庁事業・県費事業の募集中時には、バンクが利用できることを周知した結果、多くの学校がバンク登録者を活用することができた。</p> <p>(課題) 登録者数を増やしても、学校が希望する芸術家等の活動が固定化される傾向があるため、幅広い登録者の活動につながるよう、多様なジャンルの周知に努める必要がある。</p>	(単位：人)			基準値(H24)	H25	達成	160	183	達成																																					
(単位：人)																																																	
基準値(H24)	H25	達成																																															
160	183	達成																																															

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																												
13	伝統文化の継承と文化芸術の創造	文化芸術活動の推進 文化の森文化施設普及事業の開催回数 <table border="1"> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>達成</td> <td>250</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>254</td> <td>265</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(単位：回)</p>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	達成	250	270	254	265										<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>優れた芸術作品に直接触れ合う機会を設けるとともに、県民のニーズに応じた様々な普及行事を実施し、伝統文化の継承と文化芸術の創造につなげる。</p> <p>各館で様々な普及行事を実施した。 ・博物館 112回 ・近代美術館 53回 ・21世紀館 37回 ・鳥居龍蔵記念博物館 12回 ・文書館 51回</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>達成</td> <td>250</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>254</td> <td>265</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(成果) 県民の誰もが参加でき、楽しみながら学び、考え、知的欲求を満たすことのできる場を提供した。</p> <p>(課題) 県民のニーズに応じた、豊富な普及行事を実施する必要がある。</p> <p>平成26年度には、四県連携事業の「四国へんろ展」を開催する。また、平成27年度の「文化の森25周年」を見据え、引き続き、県民に足を運んでいただけよう魅力的な普及事業の開催に努める。</p>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	達成	250	270	254	265									
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	達成	250	270																																					
254	265																																														
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	達成	250	270																																					
254	265																																														
14	伝統文化の継承と文化芸術の創造	担当課 文化の森振興本部 施策・成果指標 伝統文化と文化財の保存・継承 伝統文化や文化財に関する教育を組み入れた中学校教育課程の実施	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>あわ文化教育を教育課程に位置づけて、効果的にかつ継続的に、ふるさと徳島の伝統文化や文化財について学び、誇りを持って県内外へ発信していくことができる生徒の育成を目指す。</p> <p>県立3中学校(城ノ内中学校・富岡真中学校・川島中学校)の1年生を対象にモデル事業を実施した。それぞれの中学校の教育課程に基づき、文化授業・体験授業・現地授業を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>モデル校での実施</td> <td>達成</td> <td>モデル校での実施</td> <td>全公立中学校での実施</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(単位：—)</p> <p>(成果) 県立3中学校をモデル校として、あわ文化学習を実施し、教材、授業形態、方法等について検証した。</p> <p>(課題) 中学校の教育課程が過密であり、各学校ともあわ文化学習を取り入れられるための工夫が必要である。</p> <p>平成25年度のモデル校での検証をもとに、平成26年度は公立中学校へモデル校を広げ、全公立中学校での実施に向け、教材の整備等体系的なあわ文化教育のしくみ作りを進める。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	モデル校での実施	達成	モデル校での実施	全公立中学校での実施	—																															
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	モデル校での実施	達成	モデル校での実施	全公立中学校での実施																																				
—																																															

基本方針2 知・徳・体の調和がとれ、社会を生き抜く力を育てる教育の実現

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																																						
15	確かな学力の育成	<p>学力向上策の推進 ふだん一日10分以上読書をする児童生徒の割合</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>70.1</td> <td>86.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>76.0</td> <td>80以上</td> <td>80以上</td> </tr> </table> <p>小5 中2</p> <p>担当課 学校政策課</p>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	70.1	86.5					76.0	80以上	80以上	全国的に家庭における読書離れが指摘されている中、学校図書館活動等を活性化し、貸出冊数を増加させるなど学校による家庭読書につながる取組を充実させ、児童生徒が家庭や図書館で本を読む習慣を定着させる。	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>全国的に家庭における読書離れが指摘されている中、学校図書館活動等を活性化し、貸出冊数を増加させるなど学校による家庭読書につながる取組を充実させ、児童生徒が家庭や図書館で本を読む習慣を定着させる。</p> <p>学校図書館の活性化を通じた読書習慣づくりの取組として「読書の生活化プロジェクトⅢ」を実施するとともに、徳島県学力ステップアッププロジェクト中の意識等調査の1項目として、小学校5年生、中学校5年生を対象に実態調査を実施した。</p> <p>(単位：%)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>70.1</td> <td>86.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>76.0</td> <td>80以上</td> <td>80以上</td> </tr> <tr> <td>58.1</td> <td>79.9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>66.0</td> <td>70以上</td> <td>70以上</td> </tr> </table> <p>(成果) 多くの学校において、お薦めブックリストの作成や朝の斉読書など学校をあげての取組が行われ、読書活動の推進が図られている。</p> <p>(課題) 小学生に比べ、中学生の読書活動の割合がやや低いため、読書の生活化に向けた取組を深め、さらに啓発活動を行っていく必要がある。</p> <p>子どもたちの身近に読みたい本がある環境づくりを推進するため、各学校の図書館がより一層活用されるように図書館活用の機会を拡大していく。また「読書の生活化プロジェクトⅢ」を実施し、毎月23日を「家庭読書の日」、その週を「家庭読書推進週間」として新聞を含む家庭読書につながる取組を実施する。</p>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	70.1	86.5					76.0	80以上	80以上	58.1	79.9					66.0	70以上	70以上									
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																																		
70.1	86.5					76.0	80以上	80以上																																																		
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																																		
70.1	86.5					76.0	80以上	80以上																																																		
58.1	79.9					66.0	70以上	70以上																																																		
16	確かな学力の育成	<p>学力向上策の推進 「全国学力・学習状況調査」における、書く力を伸ばすための指導の実施率</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>87.5</td> <td>89.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>88.5</td> <td>92.5</td> <td>92.5</td> </tr> <tr> <td>82.9</td> <td>88.4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>84.5</td> <td>88.5</td> <td>88.5</td> </tr> </table> <p>小6 中3</p> <p>担当課 学校政策課</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	87.5	89.0					88.5	92.5	92.5	82.9	88.4					84.5	88.5	88.5	「全国学力・学習状況調査」における、書く力を伸ばすための指導の充実を図る。	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>「全国学力・学習状況調査」における質問紙調査により、各小・中学校における児童・生徒の書く力を伸ばすための充実を促進する。</p> <p>学力向上推進委員研修会や校長会、学校計画訪問等を通じて、書く力を伸ばすための指導の充実について周知した。</p> <p>「全国学力・学習状況調査」の実施(4月24日) 「全国学力・学習状況調査」の結果公表(8月28日)</p> <p>(単位：%)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>87.5</td> <td>89.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>88.5</td> <td>92.5</td> <td>92.5</td> </tr> <tr> <td>82.9</td> <td>88.4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>84.5</td> <td>88.5</td> <td>88.5</td> </tr> </table> <p>(成果) 各種研修会、学校計画訪問等を通じて、書く力を伸ばすための指導の充実を周知したことにより、調査結果における実施率が高まり、小・中学校とも目標値を超えた。</p> <p>(課題) 今後は書く力を伸ばすための指導の具体的方策に関する情報提供を行う必要がある。</p> <p>小・中ともに実施率が上がり目標値を超えるとともに全国平均を上回ったが、引き続き指導の具体的方策に関する情報提供を行い、書く力を伸ばすための指導の充実を促進する。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	87.5	89.0					88.5	92.5	92.5	82.9	88.4					84.5	88.5	88.5
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																																		
87.5	89.0					88.5	92.5	92.5																																																		
82.9	88.4					84.5	88.5	88.5																																																		
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																																		
87.5	89.0					88.5	92.5	92.5																																																		
82.9	88.4					84.5	88.5	88.5																																																		

番号	目標	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
17	確かな学力の育成	幼稚園・小学校・中学校の連携 幼稚園・小学校・中学校における合同研修会等の連携のための取組の推進	<p>事業目的 幼・小・中学校間で、相互の連携を一層促進し、園児・児童・生徒に対する継続的な指導や教師間の情報交換により、園児・児童・生徒への理解を深めるとともに、学習指導、生徒指導等の充実についての研究を推進する。</p> <p>取組状況 (H25年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>(単位：一)</p> <p>評価 幼小中連携推進事業「学びのかけ橋」プロジェクトを、平成24年度から引き続き、研究指定地域である藍住町で実施した。</p> <p>今後の取組方針 幼・小・中11年間を通じた「学び」や「育ち」をつなぐ教育・地域との連携等について、平成26年度から2年間北島町・栗みよし町を指定区域として実践的な研究を進めるとともに、その成果の県内への普及に努める。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	-	推進						推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
-	推進						推進	推進													
18	確かな学力の育成	担当課 学校政策課 施策・成果指標 コミュニケーション能力の育成 授業や行事等において、児童生徒が様々な人とコミュニケーションを図るための取組の推進	<p>事業目的 授業や行事等において、外部人材や地域のボランティアの人たち等と共に学習することにより様々な立場の人々と交流し、コミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>取組状況 (H25年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>(単位：一)</p> <p>評価 (成果) 外部人材や地域のボランティアの人々等と交流することによりコミュニケーション能力の育成が図られるとともに、様々な立場の人々の思いや考えを知ることができた。</p> <p>今後の取組方針 地域ぐるみで児童生徒のコミュニケーション能力の育成を図るため、学校地域支援本部や地域コーディネーターの育成等の普及を図ることにより、外部人材や地域ボランティアの積極的な活用を推進した。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	-	推進						推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
-	推進						推進	推進													

番号	推進項目	事業名、数値目標実績	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																								
19	豊かな心の育成	道徳教育の充実 県小中学校教育研究会道徳部会、徳島県道徳教育推進協議会等との緊密な連携	<p>徳島県道徳教育推進協議会を核とした道徳教育実践研究（指定校）事業による研究成果の普及、県小中学校教育研究会道徳部会と連携した道徳教育の指導方法の改善等を通して、道徳教育を推進する。</p> <p>1 県小中学校教育研究会道徳部会の研究発表表等への指導助言を行った。 2 徳島県道徳教育推進協議会との連携を通して研究の推進に努め、研究成果についての普及を図った。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：－)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>－</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 県小中学校教育研究会道徳部会の研究発表表等への指導助言（研究発表表4枚、市道徳部会3回、県道徳部会2回）や道徳教育実践研究（指定校）事業（6校）の研究成果の普及を通して、指導の改善に資することができた。</p> <p>(課題) 県内各校において学校の教育活動全体を通して取組が一層推進されるよう、連携を深めることが重要である。</p> <p>県小中学校教育研究会道徳部会、徳島県道徳教育推進協議会との連携を一層深め、学校の教育目標、学校の教育や地域の実情、児童生徒の実態等を踏まえた取組の推進を図る。</p>	(単位：－)						基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	－	推進						推進	推進
(単位：－)																											
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																			
－	推進						推進	推進																			
20	豊かな心の育成	担当課 学校政策課 施策・成果指標	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校におけるボランティア活動の充実、地域・ボランティア団体等との連携を緊密に図り、継続的に学校や地域でのボランティア活動を推進し、その意欲を醸成する。</p> <p>東日本大震災における被災地支援の重要性を実感させる教材を提供し、ボランティア活動による社会貢献への意識の高揚を図るとともに、各学校において、福祉施設の訪問、地域の清掃活動やリサイクル品回収活動を行うなど、様々な活動が進められた。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="6">(単位：－)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>－</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 各学校において、東日本大震災における被災地支援の重要性を実感させる教材の活用を通して、児童生徒のボランティア活動への参加意欲の高揚が図られた。</p> <p>(課題) 外部人材や地域の人々と連携したボランティア活動を計画する機会の確保及び活動の推進するための指導力を備えた教員の育成が課題である。</p> <p>学校と家庭、地域がともに取り組む体制やボランティア活動を行う団体との協力体制を確立し、学校外部の人材を活用するなど、地域に根ざした活動の充実を図る。</p>	(単位：－)						基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	－	推進						推進	推進
(単位：－)																											
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																			
－	推進						推進	推進																			

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																									
21	豊かな心の育成	環境教育の推進 新学校版環境ISO認証取得校数(累計)(従前の学校版環境ISO認証取得校数含む) 	<p>従来の学校における節電・ごみ分別・リサイクル活動等に継続的に取り組むとともに、これらの取組を地域に広げ、児童・生徒が地域に向かい、環境美化活動や自然観察等の体験活動を積極的にを行い、学校における環境学習で学んだことを、家庭や地域にも波及させていくことを目的とする。</p> <p>さらに、この取組の成果を生かし、「新学校版環境ISO」認定校の一層の拡大を図るとともに、エネルギーに関する教育を充実させ、生命や自然を大切に、地域の環境を守るために行動できる、郷土を愛するモラルの高い児童・生徒を育成する。</p> <p>「新学校版環境ISO」に平成24年度から移行しており、平成25年度は65校が新規に認証取得を行った。平成24年度の認定校及び従前の「学校版環境ISO」認定校と合わせて245校が認証取得している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位:校)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>達成</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>220</td> <td>245</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>240</td> <td>達成</td> <td>265</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果)平成24年度から移行した「新学校版環境ISO」認定校が190校となり、「新学校版環境ISO」が浸透しつつある。児童・生徒、教職員が一体となった環境保全活動が家庭や地域にも広がっている。</p> <p>(課題)従前の「学校版環境ISO」認定校の「新学校版環境ISO」への速やかな移行と「新学校版環境ISO」新規校の増加が課題である。</p> <p>環境・エネルギー教育推進事業連絡協議会やエコリーダー養成講座、環境・エネルギー教育発表会における講演や実践発表をより一層充実することにより、「新学校版環境ISO」認定校の一層の拡大を図る。</p>	(単位:校)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	達成	目標値(H29)	220	245						240	達成	265
(単位:校)																												
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	達成	目標値(H29)																			
220	245						240	達成	265																			
22	健やかに生きる力の育成	担当課 学校政策課 施策・成果指標 学校体育の充実と運動習慣の確立 全国体力運動能力調査結果における全国順位	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>改善傾向にあるものの、体力・運動能力の低下、運動をしない子の二極化現象、肥満傾向児の出現率が高い本県の子どもの身体の状況から、体力・運動能力の向上は喫緊の課題であり、学校・地域・家庭が連携した取組を推進し、その実現を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 小学3・4年生を中心に新体力テストの実施及び県内プロスポーツ団体による運動指導を実施した。 2 小学校の体育授業に県内プロスポーツ団体や大学教員等による指導者の派遣を行った。 3 自ら生活や運動習慣の目標を決め100日達成を目指す取組や年度初めの歩数よりプラス1,000歩を目指す取組を実施した。 4 ICTを活用し、運動の苦手な子どもでも友だちや家族と繰り返し記録に挑戦できるランキングシステムの利用を促進した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位:順位)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H22)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>達成</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国平均以下</td> <td>35</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>35以上</td> <td>達成</td> <td>全国平均以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果)平成25年度の全国体力運動能力調査の結果(小学校5年生・中学校2年生)を平成21年度(皆悉調査)と比較すると、34種目中、全国平均を上回る種目数が3から9に増加、26種目で記録が向上した。</p> <p>(課題)実技調査「上体こし」の測定による筋持久力や、「20mシャトルラン」、「持久走」による全身持久力に課題が見られる。</p> <p>小学校体育授業への指導者派遣による実施対象校を拡大していく。また、望ましい生活習慣の形成に向けた取組を支援する専門性のある指導者派遣を進めていく。</p>	(単位:順位)					基準値(H22)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	達成	目標値(H29)	全国平均以下	35						35以上	達成	全国平均以上
(単位:順位)																												
基準値(H22)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	達成	目標値(H29)																			
全国平均以下	35						35以上	達成	全国平均以上																			

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
23	健やかに生きる力の育成	学校における食育の推進 栄養教諭・学校栄養職員による食に関する指導実施率(公立小中学校) <table border="1"> <tr><td>基準値(H24)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H25)</td><td>目標値(H25)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr><td>65</td><td>87</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>70</td><td>90</td></tr> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	65	87					達成	70	90	事業目的 「徳島県食育推進計画」に基づき、栄養教諭・学校栄養職員がコーディネーターとなり、その専門性を生かして食に関する指導の充実を図る。 1 全公立小学校の特定学年全学級で、担任と栄養教諭・学校栄養職員が協力して「食に関する指導」の授業を実施した。 2 公立小中学校で、学校給食の時間等を活用した「食に関する指導」を実施した。 (単位：%)	取組状況(H25年度分) (成果) 全公立小学校で授業実践を行うことにより、児童が自身の食に関する課題解決にじっくり取り組み、望ましい食習慣について考えることができた。 (課題) 栄養教諭・学校栄養職員が、置籍校や置籍調理場から未配置校に赴いて授業をすることが、時間等の制約で困難であった。 栄養教諭・学校栄養職員の配置拡大を図るとともに、栄養教諭が未配置校に赴いて指導しやすい学校食育推進体制を整備するよう、市町村に働きかける。また、各学校の取組状況を市町村教育委員会を通して定期的に調査し、食育に対する意識向上を図る。
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)														
65	87					達成	70	90														
24	健やかに生きる力の育成	学校における食育の推進 学校給食における地場産物の活用率 <table border="1"> <tr><td>国の基準(目標値)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H25)</td><td>目標値(H25)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr><td>30</td><td>41</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>31</td><td>35</td></tr> </table>	国の基準(目標値)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	30	41					達成	31	35	事業目的 地域の産業や文化等について学んだり生産者等に対する感謝の気持ちを育てたりするために、食育の教材である学校給食に安全安心な地場産物の活用を推進する。 1 栄養教諭・学校栄養職員研修会で地場産物活用の呼びかけを行った。 2 年2回の地場産物活用率調査を実施した。(6月・11月) 3 「旬の食材活用月間」「食育の日」で地場産物活用の依頼を行った。 (単位：%)	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 地域の産業や文化等について学んだり生産者等に対する感謝の気持ちを育てたりするために、食育の教材である学校給食に安全安心な地場産物の活用を推進する。 1 栄養教諭・学校栄養職員研修会で地場産物活用の呼びかけを行った。 2 年2回の地場産物活用率調査を実施した。(6月・11月) 3 「旬の食材活用月間」「食育の日」で地場産物活用の依頼を行った。 (成果) 地場産物活用の呼びかけにより、目標値を達成することができた。 (課題) 他部局との連携事業で、魚や肉についても地場産物の活用が試みられたが、果産の肉や魚は、価格等の問題で活用困難であった。また、果産根菜類が入手困難な11月は、活用率が上がりにくかった。 関係部局や生産者団体と連携をとりながら、地域の産業や各調理場の食数に応じた安定的な地場産物供給体制の整備を進める。
国の基準(目標値)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)														
30	41					達成	31	35														

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																										
25	健康の充実 健康課題に対する地域検討会、研修会、講演会等の開催回数(累計)	<p>担当課 体育学校安全課</p> <p>施策・成果指標</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>開催回数</th></tr> <tr><td>H24</td><td>20</td></tr> <tr><td>H25</td><td>40</td></tr> </table> <p>基準値(H24) 20</p>	年度	開催回数	H24	20	H25	40	<p>事業目的</p> <p>学校保健の充実を図るとともに、学校・家庭・地域・専門機関と連携し、子どもたちの現代的な健康課題の解決に取り組む。特に、望ましい生活習慣の定着を図り、児童生徒の肥満予防、肥満対策、生活習慣病予防対策を推進する。</p> <p>学校や地域に専門家を派遣し、学校や地域の実情に応じた取組を支援した。また、協議会を開催し、専門家と連携した取組を推進した。</p> <table border="1"> <tr><th colspan="4">(単位：回)</th></tr> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th></tr> <tr><td>20</td><td>40</td><td></td><td></td></tr> <tr><th colspan="4">達成</th></tr> <tr><td></td><td>30</td><td></td><td>80</td></tr> </table> <p>(成果) 協議会・対策会議を4回実施し、食物アレルギー(7件)、心疾患(1件)、性教育(2件)、メンタルヘルス(2件)、眼科(1件)、感染症(1件)、歯科(2件)について、地域等での研修会、講演会を実施した。</p> <p>(課題) 生活習慣病予防に関しては、保護者の理解や協力が不可欠であり、効果的な連携が課題である。</p> <p>食育や体力向上との関連を図り、総合的に取り組む。新たに、地域、家庭、専門家が連携した小児生活習慣病予防モデル事業を行い、効果的な取組についての研究を支援する。</p> <p>今後の取組方針</p>	(単位：回)				基準値(H24)	H25	H26	H27	20	40			達成					30		80
年度	開催回数																												
H24	20																												
H25	40																												
(単位：回)																													
基準値(H24)	H25	H26	H27																										
20	40																												
達成																													
	30		80																										
26	個性がひらく特別支援教育の推進	<p>担当課 特別支援教育課</p> <p>施策・成果指標</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>作成率</th></tr> <tr><td>H24</td><td>73.7</td></tr> <tr><td>H25</td><td>80.0</td></tr> </table> <p>基準値(H24) 73.7</p>	年度	作成率	H24	73.7	H25	80.0	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>障がいのある幼児児童生徒一人一人のニーズに応じた教育を充実させるために、関係機関が連携し障がいの状態等に配慮した支援を乳幼児期から学校卒業後までの長期的視点で行うための計画を明記した「個別の教育支援計画」の作成を推進する。</p> <p>1 県教育委員会において特別支援教育コーディネーター研修、特別支援学級担任者研修、地域特別支援連携協議会等において、具体的な作成手順や活用方法等について周知を図った。</p> <p>2 県立総合教育センターが作成している「個別の教育支援計画」を作成するための手引き等も活用し、特別支援教育巡回相談員が相談や校内研修の場などを通じて、作成についての助言を行った。</p> <table border="1"> <tr><th colspan="4">(単位：%)</th></tr> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th></tr> <tr><td>73.7</td><td>80.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><th colspan="4">達成</th></tr> <tr><td></td><td>76.0</td><td></td><td>85.0</td></tr> </table> <p>(成果) 障がいのある幼児児童生徒の将来を見据え、作成の必要性が保護者や学校等に徐々に浸透しつつある。</p> <p>(課題) 作成にあたって、保護者の同意を必要としているので、作成の必要がある幼児児童生徒がいても、作成が困難な場合がある。</p> <p>特別支援教育コーディネーター研修や特別支援学級担任者研修等を通じて、障がいのある幼児児童生徒の早期支援のため「個別の教育支援計画」が重要であることを各園・学校に周知する。また、作成が進まない園・学校に対しては、特別支援教育巡回相談員が相談や研修の際に作成の仕方等について指導等を行ったり、直轄各学校からの作成や活用方法についての相談に応じたりする。</p> <p>今後の取組方針</p>	(単位：%)				基準値(H24)	H25	H26	H27	73.7	80.0			達成					76.0		85.0
年度	作成率																												
H24	73.7																												
H25	80.0																												
(単位：%)																													
基準値(H24)	H25	H26	H27																										
73.7	80.0																												
達成																													
	76.0		85.0																										

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																										
27	個性がひらく特別支援教育の推進	<p>就労支援の充実 特別支援学校の就業体験協力事業所数(累計)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>事業所数</th></tr> <tr><td>H24</td><td>300</td></tr> <tr><td>H25</td><td>352</td></tr> </table> <p>基準値(H24) 300 H25 352</p>	年度	事業所数	H24	300	H25	352	<p>特別支援学校では、事業所等で適正に応じた就業体験を積極的に行うため、進路指導主事等が中心となり、就業体験に協力いただけ的事业所を開拓していく。</p> <p>1 特別支援学校進路指導主事11名が職場開拓を行った回数→1626回 2 新規に進路開拓した事業所数→63事業所 3 平成25年度に進路開拓した事業所のうち、就業体験を受け入れ可能と答えた事業所数→52事業所</p> <p>(単位：事業所)</p> <table border="1"> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H25)</th><th>目標値(H25)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr><td>300</td><td>352</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>350</td><td>450</td></tr> </table> <p>(成果) 進路指導主事等が中心になり、新たに52事業所を開拓することができた。</p> <p>(課題) 特別支援学校では、生徒が事業所での就業体験を繰り返し行うことで卒業後の就労に結びつけている。そのため、進路指導主事を中心として生徒に応じた就業体験先の確保が課題となっている。</p> <p>徳島労働局・ハローワークや障害者雇用を支える徳島企業ネットワークなど関係機関との連携を密にし、就業体験協力事業所を積極的に開拓する。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	300	352					達成	350	450	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>特別支援学校版の技能検定を実施することにより、特別支援学校生徒が学習の成果について認定を受け、生徒の就労に向けた意欲や技能の向上を図る。</p> <p>「とくしま特別支援学校技能検定」として、ビルメンテナンス(自在ぼうき、テーブル拭き、ダスタークロス、モップ)、接客(喫茶サービス)、介護(シーツ回収)、ICT(ワープロ入力)の4分野を実施し、延べ226名の生徒が受検して級認定を受けた。平成24年度から25年度にかけては、検定分野や種目の拡大、参加校の広がりにより、大幅に受検者数が増加した。</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H25)</th><th>目標値(H25)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr><td>65</td><td>226</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>100</td><td>140</td></tr> </table> <p>(成果) 4分野7種目の検定を実施し226名の生徒が受検、受検した生徒には技能の習得とともに自信や意欲の向上が見られた。</p> <p>(課題) 技能検定の取組について、県下の各特別支援学校での情報共有を図り、指導教員のスキルを向上していく体制を進めていくことが必要である。</p> <p>今後とも、専門家等との連携により、「とくしま特別支援学校技能検定」を継続して実施し、特別支援学校生徒の就労に向けた技能の習得や意欲の向上を目指す。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	65	226					達成	100	140
年度	事業所数																																													
H24	300																																													
H25	352																																													
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																						
300	352					達成	350	450																																						
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																						
65	226					達成	100	140																																						
28	個性がひらく特別支援教育の推進	<p>就労支援の充実 とくしま特別支援学校技能検定受検者数</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>受検者数</th></tr> <tr><td>H24</td><td>65</td></tr> <tr><td>H25</td><td>226</td></tr> </table> <p>基準値(H24) 65 H25 226</p>	年度	受検者数	H24	65	H25	226	<p>特別支援学校版の技能検定を実施することにより、特別支援学校生徒が学習の成果について認定を受け、生徒の就労に向けた意欲や技能の向上を図る。</p> <p>「とくしま特別支援学校技能検定」として、ビルメンテナンス(自在ぼうき、テーブル拭き、ダスタークロス、モップ)、接客(喫茶サービス)、介護(シーツ回収)、ICT(ワープロ入力)の4分野を実施し、延べ226名の生徒が受検して級認定を受けた。平成24年度から25年度にかけては、検定分野や種目の拡大、参加校の広がりにより、大幅に受検者数が増加した。</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H25)</th><th>目標値(H25)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr><td>65</td><td>226</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>100</td><td>140</td></tr> </table> <p>(成果) 4分野7種目の検定を実施し226名の生徒が受検、受検した生徒には技能の習得とともに自信や意欲の向上が見られた。</p> <p>(課題) 技能検定の取組について、県下の各特別支援学校での情報共有を図り、指導教員のスキルを向上していく体制を進めていくことが必要である。</p> <p>今後とも、専門家等との連携により、「とくしま特別支援学校技能検定」を継続して実施し、特別支援学校生徒の就労に向けた技能の習得や意欲の向上を目指す。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	65	226					達成	100	140	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>特別支援学校版の技能検定を実施することにより、特別支援学校生徒が学習の成果について認定を受け、生徒の就労に向けた意欲や技能の向上を図る。</p> <p>「とくしま特別支援学校技能検定」として、ビルメンテナンス(自在ぼうき、テーブル拭き、ダスタークロス、モップ)、接客(喫茶サービス)、介護(シーツ回収)、ICT(ワープロ入力)の4分野を実施し、延べ226名の生徒が受検して級認定を受けた。平成24年度から25年度にかけては、検定分野や種目の拡大、参加校の広がりにより、大幅に受検者数が増加した。</p> <p>(単位：人)</p> <table border="1"> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H25)</th><th>目標値(H25)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr><td>65</td><td>226</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>100</td><td>140</td></tr> </table> <p>(成果) 4分野7種目の検定を実施し226名の生徒が受検、受検した生徒には技能の習得とともに自信や意欲の向上が見られた。</p> <p>(課題) 技能検定の取組について、県下の各特別支援学校での情報共有を図り、指導教員のスキルを向上していく体制を進めていくことが必要である。</p> <p>今後とも、専門家等との連携により、「とくしま特別支援学校技能検定」を継続して実施し、特別支援学校生徒の就労に向けた技能の習得や意欲の向上を目指す。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	65	226					達成	100	140
年度	受検者数																																													
H24	65																																													
H25	226																																													
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																						
65	226					達成	100	140																																						
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																																						
65	226					達成	100	140																																						

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																							
29	個性がひらく特別支援教育の推進	発達障がい教育の充実 関係機関のネットワークを利用した高等学校相談校数 	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 みなと高等学校圏を中心とし、発達障がい者総合支援センター、地域若者サポートステーション、就業・生活支援センターとICTネットワークを活用したテレビ会議システムを利用し、即時相談支援体制の構築を図ることにより、喫緊の課題である発達障がいのある高等学校教職員の生の就労支援を実施する。 テレビ会議システムを活用し、県西部の高等学校2校が3回、県中央部の高等学校1校が相談を実施した。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：校)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>30.0%</td> <td>10</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> (成果) 発達障がいのある生徒の就労支援について、関係機関と連携し、就業体験など具体的な方策を提示・実施することにより、高等学校だけでなくできなかった就労支援策を実施することができた。 (課題) 発達障がいに関するICTネットワークを活用した相談は、従来のテレビ会議システムにはない新しい取組のため、各高等学校が相談しやすい巡回教育相談員を活用した相談事例が多かった。 発達障がいのある生徒の就労支援に関するICTネットワークを活用した相談について、高等学校へのさらなる周知を図るとともに、特別支援教育巡回相談員からの情報提供や、関係機関からの情報提供をさらに進めていく。	(単位：校)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	5	3					30.0%	10	15
(単位：校)																										
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																		
5	3					30.0%	10	15																		
30	個性がひらく特別支援教育の推進	担当課 特別支援教育課 施策・成果指標 発達障がい教育の充実 「徳島県発達障がい教育研究会」における参加校数 	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 徳島県内の各園・学校において、発達障がいの特性を理解した教員等による教育活動の展開と有効な指導方法についての成果を、県内外へ情報発信を行う。 第1回研究会参加校数 (8月30日実施) : 県外31校、県内23校 合計54校 第2回研究会参加校数 (2月21日実施) : 県外18校、県内17校 合計35校 合計89校 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：校)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30</td> <td>89</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>45</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> (成果) 県内外を中心に、目標値を上回る89校の参加があった。 (課題) 徳島県から発信した研究成果を他校で再現するため、ワークショップ形式の研究会を開催することが課題として考えられる。 今後も、発達障がい教育研究会を通して、県内及び県外へ情報発信を行っていく。	(単位：校)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	30	89					達成	45	100
(単位：校)																										
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																		
30	89					達成	45	100																		

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																						
31	行動につながる人権教育の推進	<p>教育活動全体を通じた人権教育の充実 徳島県人権教育推進方針の改定・推進</p> <p>担当課 人権教育課</p>	<p>人権に関する国の動向や社会的な状況を踏まえ、現行の「徳島県人権教育推進方針」に新たな人権教育の視点や人権課題の内容を追記するとともに、学校教育において、学習者の発達段階に応じ、あらゆる機会や場を捉えて人権教育をさらに推進し、充実を図っていく。</p> <p>国の「人権教育・啓発に関する基本計画」の一部変更、文部科学省からの「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」の発効、「徳島県教育振興計画（第2期）」の策定や、「原発事故による風評被害」「拉致問題」等、新たな人権問題の視点や社会の動向を踏まえた人権教育を推進することを目標として、必要な内容を追記した。またそれに伴い、今後学校教育及び社会教育においてその内容を周知するために、「『徳島県人権教育推進方針』に基づく人権教育の充実」と題したリーフレットを作成した。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">(単位：一)</td> </tr> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>目標値(H25)</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>達成率(H25)</td> <td>達成率(H25)</td> </tr> <tr> <td>目録値(H25)</td> <td>目録値(H29)</td> </tr> <tr> <td>改定準備</td> <td>改定</td> </tr> <tr> <td>改定</td> <td>改定</td> </tr> <tr> <td>達成</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>(成果) 新たな人権問題の視点や国の動向を踏まえた内容を現行の推進方針に追記することにより、人権教育の充実を図ることができた。</p> <p>(課題) 今後、追記した内容の周知とともに、「徳島県人権教育推進方針」に基づいた人権教育をさらに推進する必要がある。</p> <p>追記した「徳島県人権教育推進方針」に基づき、教育活動全体を通じた人権教育に取り組み、その具体実践化を行うために、人権教育の充実を図っていく。</p>	(単位：一)		基準値(H24)	目標値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	H29	達成率(H25)	達成率(H25)	目録値(H25)	目録値(H29)	改定準備	改定	改定	改定	達成	達成	推進	推進
(単位：一)																									
基準値(H24)	目標値(H25)																								
H25	H26																								
H27	H28																								
H29	H29																								
達成率(H25)	達成率(H25)																								
目録値(H25)	目録値(H29)																								
改定準備	改定																								
改定	改定																								
達成	達成																								
推進	推進																								
32	行動につながる人権教育の推進	<p>教育活動全体を通じた人権教育の充実 人権教育研究校の指定校数</p> <p>担当課 人権教育課</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">(単位：校)</td> </tr> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>目標値(H25)</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>達成率(H25)</td> <td>達成率(H25)</td> </tr> <tr> <td>目録値(H25)</td> <td>目録値(H29)</td> </tr> <tr> <td>改定</td> <td>改定</td> </tr> <tr> <td>達成</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </table>	(単位：校)		基準値(H24)	目標値(H25)	H25	H26	H27	H28	H29	H29	達成率(H25)	達成率(H25)	目録値(H25)	目録値(H29)	改定	改定	達成	達成	推進	推進	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>人権意識を培うための学校教育の在り方等について、幅広い観点から実践的な研究を行い、その成果の普及に努め、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実を図る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 研究指定校の指定 ○県指定 (高川原幼稚園、重清東幼稚園、国府支援学校、真光工業高等学校) 2 研究発表会の開催 ○文部科学省指定 (高川原小学校、重清東小学校、岩倉中学校、鳴門中学校) 10月23日 (重清東幼稚園、重清東小学校、真光工業高等学校) 11月1日 (鳴門中学校) 3 ホームページ等での情報発信 <p>(成果) 研究指定校においては、実践研究を深め、指導内容や指導方法の改善・充実を図るとともに、教職員の人権意識の高揚やPTA研修の充実にもつながった。研究発表会の開催、人権教育課のホームページ上での情報発信等により、研究の成果を県内外に広げることができた。</p> <p>(課題) 研究指定校への支援、研究成果等の普及については、さらに工夫改善を行っていく必要がある。</p> <p>研究指定校における研究の充実に向けた支援に努めるとともに、様々な機会を捉えてその研究成果を広め、普及を図っていく。</p>		
(単位：校)																									
基準値(H24)	目標値(H25)																								
H25	H26																								
H27	H28																								
H29	H29																								
達成率(H25)	達成率(H25)																								
目録値(H25)	目録値(H29)																								
改定	改定																								
達成	達成																								
推進	推進																								

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針
33	行動につながる人権教育の推進	教育活動全体を通じた人権教育の充実 ライフステージに応じた人権研修回数 	事業目的 「徳島県人権教育推進方針」に基づき、各学校における人権教育を充実・推進するため、教職員の人権意識の高揚を図り、人権及び人権問題に関する理解・認識を深め、人権教育の指導力を高める。 取組状況 (H25年度 分) ①実践力向上講座 (8年目の教員) ②指導力充実講座 (10年経験者) 人権教育主事研修会 年間3回 5 教職5年次研修 (人権教育) 小 (12月3日); 中・特 (11月25日), 高・養 (11月27日)	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 「徳島県人権教育推進方針」に基づき、各学校における人権教育を充実・推進するため、教職員の人権意識の高揚を図り、人権及び人権問題に関する理解・認識を深め、人権教育の指導力を高める。 (成果) 従来の基本研修や職務研修と“あわ”じんけん講座を関連させることにより、教職員のライフステージに応じた人権教育の研修を実施することができた。参加者が校内の研修の指導者としての役割を担っている学校もあった。 (課題) 人権教育の他にも様々な内容の研修が求められており、基本研修や職務研修で、人権教育に関する研修の機会を確保することが困難になってきている。総合教育センター等との連携を密にし、研修機会を確保していく必要がある。 今後の取組方針 全国的に教員の世代交代が進みつつあるなか、ライフステージごとの研修において繰り返し人権教育を教員、その内容を確認する機会を増やすことが求められている。研修において身に付けた知識や技能を、組織的な取組や幼児児童生徒の成長につなげていけるように、各講座の十分な検証等を行い、改善・充実を図る。
34	行動につながる人権教育の推進	教育活動全体を通じた人権教育の充実 人権教育指導員の派遣要請の回数 	事業目的 人権教育指導員を有する人権教育指導員を校内研修会等の講師として派遣し、人権に関する知識・理解を深め、指導力や実践力の向上を図ることができた。 (課題) 各学校等から依頼のある個別人権課題に偏りがある。各学校や市町村教育委員会等に、可能な限り幅広く個別人権課題を取り上げた研修が行われるように働きかけていく必要がある。 今後、「防災と人権」や「外国人(グローバル化社会における人権問題)」等の今日的な課題に対応できる指導員の選考に努め、幅広い研修の要望に応えられる体制を整える必要がある。また、人権教育指導員の連絡会において今日的な課題についての研修会や情報交換を行い、指導員の指導力の向上を図っていく。	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 人権教育指導員を選任し、各学校及び市町村教育委員会が主催する研修会等において指導助言することにより、県民の人権意識の高揚を図り、もって「徳島県人権教育推進方針」に基づく人権教育を推進し、人権尊重社会の実現に資することを目的とする。 41名の徳島県人権教育指導員を委嘱し、各学校及び市町村教育委員会が主催する研修会等において、個別人権課題や普遍的な視点についての指導助言を行った。様々な人権課題や今日的な課題に対応できるようにするために、指導員の選考を行い、推進方針に掲げるすべての個別人権課題に加えて普遍的な観点からも指導できる体制を整えた。 (成果) 豊かな知識や経験を有する人権教育指導員を校内研修会等の講師として派遣し、人権に関する知識・理解を深め、指導力や実践力の向上を図ることができた。

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
35	行動につながる人権教育の推進	<p>教育活動全体を通じて人権教育の充実 人権尊重の思いを伝える作品募集の応募作品数</p> <table border="1"> <tr><td>基準値 (H21~24平均)</td><td>3,000</td></tr> <tr><td>H25</td><td>5,857</td></tr> </table>	基準値 (H21~24平均)	3,000	H25	5,857	<p>“ありがとう”の気持ちを短紙(メッセージ)で表現した作品の募集を通して、感謝の気持ちから生じる人と人とのつながりの大切さや人権尊重の重要性について考える機会を県民にもついでに“ありがとう”の気持ちを尊重する。また、その作品を人権教育・啓発資料に活用することにより、県民一人一人に“ありがとう”の気持ちを尊重することなど、どのようなことなのかを感じ取っていただき、人権が尊重される社会づくりに向けた態度や行動につなげていくことを目的とする。</p> <p>1 作品募集 県内の幼稚園児から大人の方まで5,857点の作品応募があった。</p> <p>2 優秀作品の表彰式 ヒューマンフェスタ2013 (12月15日)において、優秀作品 (53作品) を表彰と作品の展示を行った。</p> <p>3 優秀作品の活用 優秀作品を啓発用パネルや作品集にし、人権教育啓発展示等で活用できるようにした。</p> <table border="1"> <tr><td colspan="5">(単位:作品)</td></tr> <tr><td>基準値 (H21~24平均)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H25)</td><td>目標値(H25)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr><td>3,000</td><td>5,857</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3,000</td><td>3,500</td></tr> <tr><td colspan="9">達成</td></tr> </table> <p>(成果) 平成24年度を上回る5,857点もの作品応募があった。作品募集とともに表彰式や優秀作品のパネル展示などにより、多くの県民が人権について考える機会とすることができた。</p> <p>(課題) 人権尊重の思いをテーマにした作品であるため、作品審査、表彰式への出席者、作品の活用等、様々な面で配慮を要し、個別の対応を丁寧に行う必要がある。</p> <p>様々な機会を捉えて作品パネルの展示や貸出を行うとともに、作品集を学校や図書館、公民館等の社会教育施設へ配付し、人権尊重の思いを表現した作品づくりに活用できるように努める。人権意識の更なる高揚を図り、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につなげるように努める。</p>	(単位:作品)					基準値 (H21~24平均)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	3,000	5,857						3,000	3,500	達成								
基準値 (H21~24平均)	3,000																																						
H25	5,857																																						
(単位:作品)																																							
基準値 (H21~24平均)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																															
3,000	5,857						3,000	3,500																															
達成																																							
36	行動につながる人権教育の推進	<p>自主的な活動の推進 中・高生による人権交流会参加人数</p> <table border="1"> <tr><td>基準値(H24)</td><td>412</td></tr> <tr><td>H25</td><td>371</td></tr> </table>	基準値(H24)	412	H25	371	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>事業目的 中学校・高等学校及び特別支援学校の生徒が交流し、人権について語り合うことを通じて、人権尊重の理念について理解を深めるとともに、人権意識の高揚を図り、様々な人権問題を解決する実践力を身に付けた生徒を育てる。</p> <p>取組状況 (H25年度分) 中・南・西の各ブロックで中・高生等が交流しながら、人権教育の理念についての理解を深める自主的な活動を推進した。また、「中・高生による人権交流会」には371名の参加者があり、人権コンサートの後の分科会では、「同和問題と私」「郷土と人権」「身近な人権問題について考えよう」等のテーマで各ブロックの活動の発表や意見交換が行われた。さらに、全体会では分科会の報告と、交流会全体についての意見交換が行われた。</p> <table border="1"> <tr><td colspan="5">(単位:人)</td></tr> <tr><td>基準値(H24)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H25)</td><td>目標値(H25)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr><td>412</td><td>371</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>88.3%</td><td>420</td><td>450</td></tr> </table> <p>(成果) 各ブロックの生徒部会や実行委員会では現地研修や講演会等を通して、積極的な交流や意見交換が行われた。交流会にも371名の参加があり、人権の意義や重要性についての理解が深まるとともに、人権問題を鋭く見抜く感性の高まりが認められた。</p> <p>(課題) 多くの生徒が参加できるように、内容や日程・会場の工夫が必要である。</p> <p>交流会の進め方や生徒ができるだけ参加しやすい内容や日程・会場を工夫・改善し、多くの学校と生徒の参加者が得られるよう努める。中・高生等が一堂に会して語り合うことを通じて、人権意識の高揚と人権問題の解決に向けた実践力を身に付けることができるよう取り組みを進めていく。</p>	(単位:人)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	412	371					88.3%	420	450									
基準値(H24)	412																																						
H25	371																																						
(単位:人)																																							
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																															
412	371					88.3%	420	450																															

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																								
37	豊かな感性を育む芸術文化活動の推進	芸術文化活動の活性化 学校での芸術家等活動回数(累計) <table border="1" style="display: none;"> <caption>芸術文化活動の活性化 学校での芸術家等活動回数(累計)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>191</td> </tr> </tbody> </table>	年度	回数	基準値(H24)	100	H25	191	<p style="text-align: center;">事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>学校において、美術や音楽等の優れた芸術に触れる機会を充実するとともに、自主的に芸術文化活動に取り組める環境を整える。その結果として、児童・生徒の感動する心、自己表現する楽しさ等、心の潤いと元気の源を提供し、豊かな感性と情操を養う。</p> <p>1 文化庁事業：次代を担う文化芸術体験事業 巡回事業 31校 派遣事業 29校</p> <p>2 あわ文化体験共感発信事業 派遣回数 26回 (15校)</p> <p>3 徳島県児童演劇地方巡回公演 派遣回数 5回</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>(単位：回)</caption> <thead> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>191</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>170</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 文化庁事業・県費事業ともに、県作成の「文化教育人材バンク」を活用し、学校での芸術家等の活動を実施し、目標値を上回る成果を残した。</p> <p>(課題) 申請校また実施する芸術家等の活動が、例年固定化される傾向があるので、多様なニーズを開拓する必要がある。</p> <p>今後とも、学校でのニーズの把握に努め、活動内容の質の向上、実施効果の広報等により、新規実施校の開拓を含め、更なる学校での芸術文化活動の取組を図る。</p> <p>今後の取組方針</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	100	191						170	300
年度	回数																										
基準値(H24)	100																										
H25	191																										
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																			
100	191						170	300																			

担当課 教育文化政策課

基本方針3 人権を尊重し、社会全体で取り組む教育の実現

番号	共通項目	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																				
38	<p>学校・家庭・地域の連携の推進</p> <p>担当課 教育総務課</p>	<p>事業目的 教育に対する理解を深めるため、「とくしま教育の日(週間)」を中心に、学校や市町村、教育団体等で、様々な事業を実施している。さらに広く事業を普及、啓発するためにシンボルマークを活用した広報を展開する。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <p>1 条例の趣旨にふさわしい事業を実施することとしており、市町村、教育機関や民間団体との協力・連携のもと、平成25年度は943事業を取りまとめた。 2 教育委員会等で実施する関連事業にシンボルマークを活用した。</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>シンボルマークを収めた広報・啓発</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>シンボルマークを収めた広報・啓発</td> <td>事業の拡充</td> </tr> </table> <p>(単位：—)</p> <p>(成果) シンボルマークを教育委員会で実施する関連行事のチラシやHPに掲載するなど、効果的な広報を実施することができた。</p> <p>(課題) 市町村教育委員会や各事業団体のシンボルマークの活用も必要である。</p> <p>市町村教育委員会をはじめ、事業実施団体にシンボルマークの使用について再度周知し、事業の一体的な広報に努め、さらに広く事業を普及、啓発する。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用した「放課後子供教室」の開設を促進し、すべての子供を対象とした学習、スポーツ、文化活動や地域住民との交流活動を行うことのできる安全・安心な子供活動拠点(居場所)づくりを推進する。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <p>「放課後子供教室」「放課後児童クラブ」の小学校区における実施率 163/188=87% (放課後子供教室47教室 放課後児童クラブ・児童館実施・運営数 144小学校区) 「安全管理員等研修会」を実施し、日常の支援活動における危機管理体制について、具体的な事例や判例をもとに研修し、各教室の安全体制について確認・整備を図った。 また、放課後子供教室、放課後児童クラブ、児童館、学校支援地域本部、学校サポーターズクラブそれぞれの代表者によるセミナー(活動発表会)を開催し、相互に事業を理解し合うとともに、事件や事故、災害発生時の対応などについて意見を交換し、情報の共有化を図った。</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>76</td> <td>87</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>82</td> <td>90</td> </tr> </table> <p>(単位：%)</p> <p>(成果) 安全管理体制の整備と、セミナー(活動発表会)による情報の共有化により、円滑な教室運営が図られ、安心安全な子供の居場所づくりの推進が図られた。</p> <p>(課題) 放課後子供教室においては、児童数の減少や、教育活動推進員・教育活動サポーターの人員確保が難しいなどの理由により、これまでの教室を実施できなかったり、新規教室を開設できない場合がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>各事業間において連携を図り、子供たちのより安全で安心な居場所づくりを促すとともに、保護者や地域の方々との理解や協力を得ることのできるよう、今後も様々な研修会等を企画・実施していく。</p> <p>活動内容紹介や教室数増加に向けた広報を行っていく。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	—	シンボルマークを収めた広報・啓発						シンボルマークを収めた広報・啓発	事業の拡充	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	76	87					達成	82	90
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																														
—	シンボルマークを収めた広報・啓発						シンボルマークを収めた広報・啓発	事業の拡充																														
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																														
76	87					達成	82	90																														
39	<p>学校・家庭・地域の連携の推進</p> <p>担当課 生涯学習政策課</p>	<p>事業目的 放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用した「放課後子供教室」の開設を促進し、すべての子供を対象とした学習、スポーツ、文化活動や地域住民との交流活動を行うことのできる安全・安心な子供活動拠点(居場所)づくりを推進する。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <p>「放課後子供教室」「放課後児童クラブ」の小学校区における実施率 163/188=87% (放課後子供教室47教室 放課後児童クラブ・児童館実施・運営数 144小学校区) 「安全管理員等研修会」を実施し、日常の支援活動における危機管理体制について、具体的な事例や判例をもとに研修し、各教室の安全体制について確認・整備を図った。 また、放課後子供教室、放課後児童クラブ、児童館、学校支援地域本部、学校サポーターズクラブそれぞれの代表者によるセミナー(活動発表会)を開催し、相互に事業を理解し合うとともに、事件や事故、災害発生時の対応などについて意見を交換し、情報の共有化を図った。</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>76</td> <td>87</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>82</td> <td>90</td> </tr> </table> <p>(単位：%)</p> <p>(成果) 安全管理体制の整備と、セミナー(活動発表会)による情報の共有化により、円滑な教室運営が図られ、安心安全な子供の居場所づくりの推進が図られた。</p> <p>(課題) 放課後子供教室においては、児童数の減少や、教育活動推進員・教育活動サポーターの人員確保が難しいなどの理由により、これまでの教室を実施できなかったり、新規教室を開設できない場合がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>各事業間において連携を図り、子供たちのより安全で安心な居場所づくりを促すとともに、保護者や地域の方々との理解や協力を得ることのできるよう、今後も様々な研修会等を企画・実施していく。</p> <p>活動内容紹介や教室数増加に向けた広報を行っていく。</p>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	76	87					達成	82	90																		
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																														
76	87					達成	82	90																														

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
40	学校・家庭・地域の連携の推進	<p>家庭・学校・地域の連携 読書活動を推進するイベントへの参加者数(累計)</p> <table border="1"> <tr> <td>標準値(H23)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>9,080</td> <td>13,024</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>9,500</td> <td>13,000</td> </tr> </table> <p>(単位：人)</p>	標準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	9,080	13,024					達成	9,500	13,000	<p>事業目的 子供の自主的な読書活動を推進するための環境整備を図る「徳島県子供の読書活動推進計画〔第二次推進計画〕」のもと、読書ボランティアのネットワークを構築し、図書館や学校等の連携を進めることにより、子供の読書活動を推進する。</p> <p>取組状況(H25年度(分)) 県立図書館において、定期的に県立図書館主催の「おはなし会」と、ボランティアによる「おはなし会」を開催するとともに、出前講座も含めた子供の読書活動を推進するための研修会を開催した。 また、子供の読書活動への興味・関心を高める子供の県立図書館見学の行事も随時実施し、イベント参加者数は、2,247人であった。 「とくしま子供読書活動推進アクション」事業において、ブックリストの普及促進のため、児童生徒を対象に、掲載図書をコメントやイラストなどで紹介する作品を募集したところ、1,232点の応募があった。</p> <p>評価 (成果) 県立図書館での定期的な「おはなし会」やボランティアによる「おはなし会」の開催をはじめ、子供たちの館内見学を積極的にを行い、子供たちが本・読書にふれあう機会を拡充した。 ブックリスト掲載図書に対するコメントやイラストなどの作品を募集し、表彰することにより、子供たちのブックリストへの関心を高めることができた。 (課題) 県立図書館での取組は充実しているが、県内の読書ボランティア等のネットワーク作りを進めるイベントなどを、積極的に企画・実施していく必要がある。</p> <p>今後の取組方針 作成した両ブックリストをより一層活用した啓発活動を継続するとともに、県民や「徳島県子供の読書活動推進協議会」からの意見・提言を反映させた推進活動によって、子供の読書活動に取り組み気運を高めていく。イベントの事後アンケートを分析・考察し、より効果的な企画を検討する。</p>
標準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
9,080	13,024					達成	9,500	13,000													
41	学校・家庭・地域の連携の推進	<p>担当課 生涯学習政策課 施策・成果指標</p> <p>学校・家庭・地域の連携 人権教育総合推進地域の指定数</p> <table border="1"> <tr> <td>標準値(H24)</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>(単位：地域)</p>	標準値(H24)	H25	2	2	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>事業目的 学校、家庭、地域社会が一体となった人権教育の総合的な取組を教育委員会との連携・協力のもとで推進し、地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人一人を大切にしながら教育の充実に資する研究を実施する。</p> <p>取組状況(H25年度(分)) 1 総合推進地域の指定 ・文部科学省指定として、小松島市と上板町の2地域を指定して研究を実施した。 2 運営協議会の開催 ・研究の進め方や成果の検証・改善等を協議した。(第1回 6月26日 第2回 2月19日) 3 研究成果の普及 ・社会教育指導者研修会で、上板町の取組を報告した。(6月27日) ・文部科学省視察で、小松島市の取組について報告し協議した。(11月22日) ・ホームページで総合推進地域の取組について情報を発信した。</p> <p>評価 (成果) 総合推進地域においては、教育委員会が学校と連携しながら地域全体で充実した取組を展開することができた。運営協議会では、学校教育と社会教育の取組を一緒に協議し、校種間の接続や連携・協働の視点から人権教育の総合的な推進について考えることができた。 (課題) 研修会を開催し、各市町村の指導者に具体的な実践事例を紹介したが、研究成果の普及についてはさらに工夫する必要がある。</p> <p>今後の取組方針 総合推進地域における研究や取組の充実に向けた支援に努めるとともに、様々な機会を捉えてその研究成果を広め、普及を図っていく。</p> <p>担当課 人権教育課</p>														
標準値(H24)	H25																				
2	2																				

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																						
42	学校・家庭・地域の連携の推進 幼児期の成長を支える取組の推進	家庭の教育力の向上 家庭教育に関する学習機会を提供する講座数(累計) <table border="1"> <tr><td>基準値(H24)</td><td>H25</td></tr> <tr><td>53</td><td>60</td></tr> </table>	基準値(H24)	H25	53	60	事業目的 地域ぐるみの家庭教育支援の実現に向けて、受講生のコミュニケーションスキルをはじめとした子育て支援の理論・技術の習得をめざす養成講座を実施し、地域において家庭の求めに応じた相談や情報提供などの支援活動を展開する家庭教育支援者を養成する。 平成23年度から保護者の身近な家庭教育支援者である祖父母世代を対象に、昔の子育ての知恵や、現在の子育て状況について学習する養成講座を開設した。講座内容に、子や孫との活動(レクリエーション)を取り入れるなど、より実践的な内容となるよう工夫した。平成25年度は4講座を開催し43人の受講があった。また、父親の家庭教育参画やワークライフバランス意識の高揚を図るための講座も行い、21組44人の受講があった。 (単位:回) <table border="1"> <tr><td>基準値(H24)</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>達成率(H25)</td><td>目標値(H25)</td><td>目標値(H29)</td></tr> <tr><td>53</td><td>60</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>60</td><td>100</td></tr> </table>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	53	60					達成	60	100	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 「ほのぼの家庭教育づくりプログラム事業」において、引き続き子育て世代にとつてより身近な祖父母と父親を対象に、昔の子育ての知恵の活用や父親の家庭教育参画について学ぶ家庭教育講座を開講し、家庭教育支援者を養成する。また、受講修了者の生涯学習情報ネットワーク指導者登録の促進、県教育委員会事業・主催講座での活動提供等、受講者のこれからの活動の支援を推進する。 (成果) 祖父母世代を対象とする講座の開講により、家庭教育の学び直しや家庭教育支援に意欲的な祖父母世代のニーズに対応することができた。また、父親の子育て講座を開講し、実践的な取組を行った。 (課題) 市町村の家庭教育支援活動において、養成講座受講修了者を活用できるようガイドライン機能を高めていかなければならない。
基準値(H24)	H25																									
53	60																									
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																		
53	60					達成	60	100																		
43	学校・家庭・地域の連携の推進	家庭の教育力の向上 「早寝 早起き 朝ごはん」表彰者(団体含む)数(累計) <table border="1"> <tr><td>基準値(H24)</td><td>H25</td></tr> <tr><td>14</td><td>21</td></tr> </table>	基準値(H24)	H25	14	21	事業目的 「早寝 早起き 朝ごはん」を中心とした「早寝 早起き 朝ごはん」とエコ活動」に関する取り組みを取り組みを表彰する。 「早寝 早起き 朝ごはん」運動と節電を意識したエコ活動により、夏の暑さを乗り切った工夫ある取組をまとめた「活動事例」に32点の応募があり、またエコ活動や節電意識を高める標語・キャッチフレーズには118点の応募があった。優秀者を7名表彰した。 (成果) 活動事例32点、標語118点の応募があり、工夫ある取組が多く寄せられた。目標値を超える7名を表彰することにより生活習慣確立の気運が高まった。 (課題) 活動事例、標語・キャッチフレーズとともに応募総数の拡大を図るため、表彰制度の周知を図る必要がある。	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針 「早寝 早起き 朝ごはん」をはじめとした「早寝 早起き 朝ごはん」とエコ活動」に関する取り組みを取り組みを表彰する。 「早寝 早起き 朝ごはん」運動と節電を意識したエコ活動により、夏の暑さを乗り切った工夫ある取組をまとめた「活動事例」に32点の応募があり、またエコ活動や節電意識を高める標語・キャッチフレーズには118点の応募があった。優秀者を7名表彰した。 (成果) 活動事例32点、標語118点の応募があり、工夫ある取組が多く寄せられた。目標値を超える7名を表彰することにより生活習慣確立の気運が高まった。 (課題) 活動事例、標語・キャッチフレーズとともに応募総数の拡大を図るため、表彰制度の周知を図る必要がある。																		
基準値(H24)	H25																									
14	21																									

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																																								
44	とくしまの教育力の活用	学校の応答団体づくり 学校サポーターズクラブ設置市町村数 <table border="1"> <caption>とくしまの教育力の活用 (学校サポーターズクラブ設置市町村数)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率(H25)</td> <td></td> <td></td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>目標値(H25)</td> <td></td> <td></td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H23	H24	H25	基準値(H23)	5			達成率(H25)			15	目標値(H25)			24	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>地域による学校支援をさらに促進するため、本県ならではの取組として学校サポーターズクラブ認証制度を推進し、活動の主体となる地域の各種住民団体の連合体の成立をめざし、「地域ぐるみの学校支援事業（学校支援地域本部）」の展開と併せ、地域ぐるみの学校支援体制づくりを推進する。</p> <p>「小学校区又は中学校区」の婦人会、青年団、自治会、老人クラブ、ボランティアグループ等の地域団体を連合体として、地域で学校支援に取り組む組織に「学校サポーターズクラブ」として認定証とフラッグを授与した。</p> <p>平成25年度は1町16クラブを認証し、累計15市町52クラブとなった。</p> <table border="1"> <caption>とくしまの教育力の活用 (学校サポーターズクラブ)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>5</td> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率(H25)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>目標値(H29)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：市町村)</p> <p>(成果) 15市町52のクラブを認証した。学校地域支援本部と併せて、地域による学校支援活動の広がりをみせた。</p> <p>評価</p> <p>(課題) 学校・家庭・地域が連携して学校支援活動を行うことが、地域の教育力向上につながることにについて、市町村及び学校の理解を深める必要がある。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>認証クラブにおいて、これまで団体・グループが培ってきたノウハウを活かした地域の学校に対する学校支援活動の充実及び多様化・継続化を図るため、効果的な学校支援活動の方法等について情報提供などの支援を行う。また、実施市町村の推進にあたっては、施策を同じくする「地域ぐるみの学校支援事業（学校支援地域本部事業）」と併せて展開するとともに、「放課後子供教室推進事業」と連携する中で、家庭及び地域の教育力の定着・向上を目指す。</p>	年度	H25	H26	H27	H28	H29	基準値(H23)	5	15				達成率(H25)					15	目標値(H29)					24
年度	H23	H24	H25																																								
基準値(H23)	5																																										
達成率(H25)			15																																								
目標値(H25)			24																																								
年度	H25	H26	H27	H28	H29																																						
基準値(H23)	5	15																																									
達成率(H25)					15																																						
目標値(H29)					24																																						
45	とくしまの教育力の活用	担当課 生涯学習政策課 施策・成果指標 開かれた学校づくり 「県立学校地域開放プラン」の展開	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>県立学校において、学校の特色を活かした地域貢献活動の取組を促進する。</p> <p>学校が主体となって地域に開放する行事イベント等、すべての県立学校において実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開授業などの学校開放事業（人権、教育関係講演会、地域防犯講演会、地域防災行事、清掃奉仕活動等） <table border="1"> <caption>とくしまの教育力の活用 (開かれた学校づくり)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>展開</td> <td>展開</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率(H25)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>展開</td> </tr> <tr> <td>目標値(H29)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>展開</td> </tr> </tbody> </table> <p>(単位：-)</p> <p>(成果) 学校が実施する地域開放、地域貢献活動により、県民の教育に対する理解を深め、学校教育の振興への気運醸成に貢献できた。</p> <p>(課題) 地域交流から地域貢献への発展を促進させる必要がある。</p> <p>学校における地域開放、地域貢献活動を発展させ、地域と学校のつながりを一層深める。また、「とくしま教育の目」シンボルマークの活用など、積極的な広報に努める。</p>	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	基準値(H24)	展開	展開					達成率(H25)						展開	目標値(H29)						展開												
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																					
基準値(H24)	展開	展開																																									
達成率(H25)						展開																																					
目標値(H29)						展開																																					

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
46	とくしまの教育力の活用	開かれた学校づくり 学校評価(学校関係者評価)結果を広く公表している 学校の割合	<p>事業目的</p> <p>学校における学校評価の目的は、各学校が組織的・継続的な改善を図り、学校評価結果を公表することにより説明責任を果たすとともに、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めることである。このことから、公立の幼稚園、小・中・高及び特別支援学校における学校評価結果について、学校便りや学校のホームページへの掲載等の方法により、保護者や地域住民等に対して広く内容を周知され、学校の現状と課題について共通理解を深めて相互の連携を促し、地域とともにある学校づくりに資する。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H23)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>75</td> <td>平成26年12月以降</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>90</td> <td>90</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>(単位：%)</p> <p>3年に1度実施される文部科学省による調査に準じて平成24年度間における学校評価の実施状況を調査した。調査結果は、県のホームページに掲載するとともに市町村教育委員会及び各学校に通知し、学校評価の充実改善の取組を促した。平成25年度間における学校評価の実施状況については、平成26年度に調査する予定であるが、平成25年度間における学校評価結果の公表に関しては、平成25年度内に途中経過を調査した。</p> <p>評価</p> <p>(成果) 平成24年度間の公立学校における学校評価結果の公表に際して、広く公表した学校は学校関係者評価では83.1%であった。なお、平成25年度間における状況については、平成26年度に調査し、集計結果は12月以降に公表予定である。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>(課題) 平成26年2月段階での平成25年度の公立学校における学校評価結果の公表率については、学校関係者評価は89.9%であり、今後、公表率を100.0%とすることが課題である。また、学校評価結果を公表していても、特定の学校関係者のみに公表している学校が学校関係者評価では6.8%であり、今後、この数値が0%となるよう市町村教育委員会等に対して働きかける必要がある。なお、県立学校に関しては、学校評価の結果を広く公表しており、これまでの取組を継続・充実することが望まれる。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>学校評価に関する調査結果(平成25年度間途中経過及び正式調査)を踏まえ、学校便り等での直接説明や、地域の公共施設での掲示板の活用等の具体例を参考に、学校評価結果を「広く」公表することに向けて各市町村教育委員会等に指導・助言を行う。</p>	基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	75	平成26年12月以降					90	90	100
基準値(H23)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
75	平成26年12月以降					90	90	100													
47	とくしまの教育力の活用	開かれた学校づくり コミュニティ・スクールモデル校(累計)	<p>事業目的</p> <p>本事業は、保護者や地域住民が、一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、より良い教育の実現を目指すため、地域に開かれ、地域に支えられる学校づくり(学校運営協議会制度)を推進するものである。</p> <p>取組状況(H25年度分)</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>21</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>14</td> <td>20</td> </tr> </table> <p>(単位：校)</p> <p>東みよし町内全ての小中学校がモデル校として事業に取り組み、取組状況について文部科学省で発表を行うなど、県外に広く広報・周知した。年度末には北島町内全ての小中学校が平成26年度の本事業のモデル校として新たに決定した。</p> <p>評価</p> <p>(成果) 事業の趣旨について、広報した結果、市町村の理解により順調に事業が進んでいる。東みよし町が、文部科学省でコミュニティ・スクールの取組を発表した。</p> <p>(課題) 地域に関われ、地域に支えられる学校づくりに対しての評価には、継続が必要である。</p> <p>今後の取組方針</p> <p>東みよし町が文部科学省で発表したことが、このように、成果が上がった取組を広める場(あわ教育発表会)を設定し、さらに広報する。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	13	21					達成	14	20
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
13	21					達成	14	20													

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																								
48	社特とくくしまの会色のあるまの化に校教対つづくり対応した魅力ある学校づくり	<p>開かれた学校づくり 「スーパーオンラインワンハイスクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組(累計)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>取組数</th></tr> <tr><td>H24</td><td>0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>4</td></tr> </table> <p>基準値(H24) 0</p>	年度	取組数	H24	0	H25	4	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>本事業は、これまでのオンラインワンハイスクール事業の活動内容をさらにレベルアップさせ、各校の特徴を最大限に活かした学校独自の自由な発想により、グローバル人材の育成を図るため、全国、そして世界を目指した徳島ならではの体験・研究活動を展開する学校を支援する。</p> <p>【全国展開校】 徳島北高校「Kitako Global Project～国際教育を通じてグローバル人材を育成する～」 城西高校「伝統産業は地方の宝～城西発「地産発信」プロジェクト～」 美馬商業高校「やっぴり美馬商大ミックス～うだつの町並みを拠点とした地域活性化～」</p> <p>【全国展開校及びグローバル展開校】 徳島商業高校「Global Prefecture TOKUSHIMA～ICTを活用した地域活性化プロジェクト～」の4校が実施校として認定され、学校独自の計画に沿って1年間を通じた活動を実施した。</p> <p>(単位：事例)</p> <table border="1"> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H25)</th><th>目標値(H25)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr><td>0</td><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>4</td><td>20</td></tr> </table> <p>(成果) 平成25年度は、全国規模の発表会やコンクールへの参加を義務づけた。各校は、全国そして世界へ活動発信できるように、多岐にわたる大会等へ応募し、全国大会への出場を果たすことができた。</p> <p>(課題) 全国大会出場権獲得のための、県予選や中国・四国予選で惜しくも出場権を逃したケースも多い。その取組の評価について検討する。</p> <p>1年間の活動成果を発表する生徒活動発表会を開催するとともに、大型商業施設や徳島阿波おどり空港において生徒活動パネル展を実施する。 平成26年度は3校が認定された。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	0	4					達成	4	20
年度	取組数																										
H24	0																										
H25	4																										
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																			
0	4					達成	4	20																			
49	社特とくくしまの会色のあるまの化に校教対つづくり対応した魅力ある学校づくり	<p>開かれた学校づくり 「NIPPON探究スクール事業」実施校のうち、各分野の全国大会に出場した取組(累計)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>取組数</th></tr> <tr><td>H24</td><td>0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>0</td></tr> </table> <p>基準値(H24) 0</p>	年度	取組数	H24	0	H25	0	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>本事業では、我が国と郷土を愛し、他国を尊重する態度と心を育成するため、主として明治から昭和における歴史を紐解き、各時代における世界の中の「NIPPON」、日本の中の徳島の政治・経済・外交を探究する学校を育成するとともに、生徒自身が「公共」について考える機会を設ける。</p> <p>徳島商業高校による「板東俘虜収容所と徳島県の大正デモクラシーについて」が採択された。 ①江戸時代後期の徳島藩、明治から大正期の徳島ゆかりの出来事・人物・産業について知り、徳島についての基礎的な知識を身につける。②第一次世界大戦前後のドイツと現在のドイツの状況について知る。③板東俘虜収容所の俘虜と徳島県人との交流を調べる。④徳島県の大正デモクラシーについて探究する。</p> <p>(単位：事例)</p> <table border="1"> <tr><th>基準値(H24)</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>達成率(H25)</th><th>目標値(H25)</th><th>目標値(H29)</th></tr> <tr><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>達成</td><td>0</td><td>3</td></tr> </table> <p>(成果) 取組1年目であるが、フィールドワークを中心として材料集めに意欲的に取り組んでいる。</p> <p>(課題) 集めた材料を再構成していく課程でのビジョンを明確化する必要がある。</p> <p>スーパーオンラインワンハイスクール事業とともに生徒活動発表会を開催し、活動パネル展を開催する。認定2年目である徳島商業高校と平成26年度認定校海部高等学校の取組に対する広報等について推進する。次年度に向けた卒業の広報にも取り組む。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	0	0					達成	0	3
年度	取組数																										
H24	0																										
H25	0																										
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																			
0	0					達成	0	3																			

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
50	幼児期の成長を支える取組の推進	<p>幼児教育の充実 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携への取組状況</p> <p>担当課 学校政策課</p>	<p>事業目的 本事業は、幼稚園と保育所、認定こども園、小学校との連携・接続を強化し、発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を推進するとともに、家庭、地域社会の教育力を生かしたネットワークを構築することにより、幼児の日々の生活の連続性を踏まえた幼児教育の充実に取り組み。</p> <p>取組状況(H25年度分) 幼稚園教諭等に対して各種研修を開催し、幼保小等連携・接続における意義や実際の取組方法の指導・助言を行った。幼稚園、保育所、認定こども園と小学校との連携・接続の状況について調査し、その実態把握に努めるとともに、各市町村に対して情報提供した。</p> <p>幼稚園教育推進連絡協議会を開催し、幼保小等連携・接続における課題解決に向けた協議を行った。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>基準値</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </table> <p>(単位：—)</p> <p>（成果）幼稚園と保育所、認定こども園、小学校においては、子供たち一人一人の成長について共通認識を図るための連携への取組が図られている。</p> <p>評価 （課題）適切な教育環境を計画的に構成し、幼児一人一人の発達段階に応じた指導を通して、健やかな成長を促していくことが求められている。</p> <p>今後の取組方針 県内の市町村に対して幼稚園と保育所、認定こども園と小学校との連携に関する調査を実施し、その実施状況や課題等を把握し、各市町村に情報提供するとともに、幼稚園と保育所、認定こども園と小学校との連携・接続を強化し、発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育を推進する。</p>	基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	—	推進						推進	推進
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
—	推進						推進	推進													
51	幼児期の成長を支える取組の推進	<p>預かり保育の充実 保育記録等の活用による指導計画・保育内容の評価・改善</p> <p>担当課 学校政策課</p>	<p>事業目的 本事業は、幼稚園において教育課程に係る教育時間の終了後等に、地域の実態や保護者の要請に応じて、希望者を対象に行う預かり保育の充実を図ることを目的としている。保育記録等の活用を通して一人一人の幼児の状態を把握し、幼児自身が心身の安定を保ち、無理なく過ごせるように、個に応じた保育内容や環境への工夫・改善等の質的向上を図ることを推進する。</p> <p>取組状況(H25年度分) 各園における預かり保育について、幼稚園設置市町に対して実態調査を行い、現状把握するとともに、幼稚園設置市町への情報提供を行った。</p> <p>評価 （成果）保育記録等の活用によって、教職員間で一人一人の幼児の状態についての共通理解が図られ、個に応じた保育内容や環境が整えられるよう各園で努めている。</p> <p>（課題）人員確保や指導体制の整備及び施設の整備が必要である。</p> <p>今後の取組方針 県内の市町に対して預かり保育に関する調査を実施し、その実施状況や課題等を把握し、各市町に情報提供するとともに、保護者や地域の実態に応じた預かり保育の充実を働きかけていく。</p>																		

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																							
52	社会教育における人権教育の充実	<p>生涯学習の視点に立った人権教育の充実 人権の視点に立ったサークル活動や交流の回数</p> <p>基準値(H24) 5 H25 7</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>人権の視点に立った活動をしている大学生のサークル等が、交流・活動するなかで青年層の人権意識の高揚を図るとともに、「あったかハートつながり隊・ひろがり隊」を組織し、各学校（園）等に派遣、活動することで人権教育の推進に資する。</p> <p>大学生のサークル等による青年の相互交流や研修会、青年と子どもたちとの交流を行った。大学との緊密な連携を図る中、4大学6サークルが幅広い要請に応じた交流活動を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：回)</th> </tr> <tr> <th>基準値(H24)</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>5</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 人権の視点で活動しているサークルを、主に幼児・児童の人権交流活動に派遣し、人権教育のより一層の充実を図るための活動ができた。</p> <p>(課題) 要請数は多くあったが、日程が合わなかったり、大学の授業等と重なったりして、十分に活動できなかったサークルがあった。</p> <p>これまでの経験を最大限に活かして、大学サークルの相互交流と子どもたちとの交流の充実を図りたい。また、市町村教育委員会、各学校（園）に対し、それぞれの既存の行事等にこの事業の活用を促していきたい。</p>	(単位：回)					基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	5	7					達成	5	15
(単位：回)																										
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																		
5	7					達成	5	15																		
53	社会教育における人権教育の充実	<p>生涯学習の視点に立った人権教育の充実 生涯にわたる人権に関する学習機会の充実</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>同和問題をはじめ様々な人権問題の解決と識字学級相互の交流及び各学校や社会教育団体等との交流活動を積極的に推進するとともに、社会啓発活動の促進を図ることを目的とする。</p> <p>5市11町16学級の識字学級が活動している。識字学級では、文字の習得のみにとどまらず、生活や文化を豊かにするための学習内容を盛り込むなどの生涯を見通した取組が行われている。また、識字学級間や学校等との交流活動、さらには、外国人や障がい者等の参加に伴って、同和問題をはじめ様々な人権問題についての学習が行われており、人権啓発展等での成果の発表・展示も行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">(単位：－)</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>達成率(H25)</th> <th>目標値(H25)</th> <th>目標値(H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>－</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>推進</td> </tr> </tbody> </table> <p>(成果) 文字の習得に加えて、生活や文化を豊かにする取組や学校や識字学級間との交流が行われた。平成25年11月の「第65回全国人権・同和教育研究会」開催と同日の人権教育・啓発展において、県内の識字学級生の作品を多く展示し、多数の来賓者に取組を広く広げることができた。</p> <p>(課題) 児童生徒や教職員、高齢者や外国人の方など、識字学級の参加者は共学者として、相互に学び合うという姿勢を大切にしているため、今後も活動に対する理解をもった参加者を増やしていくことが課題である。</p> <p>今後とも生涯にわたる学習機会への充実を行うとともに、同和問題をはじめ様々な人権問題の解決に向け、同和問題の解決に向けての理解を深めるために、識字学級間の交流を積極的に実施し、活動のさらなる充実を図っていく。</p>	(単位：－)					基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	－	推進	推進				推進	推進	推進
(単位：－)																										
基準値	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)																		
－	推進	推進				推進	推進	推進																		

番号	推進項目	施策・成果指標	事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針																		
54	地域の教育に貢献する人材の育成	<p>人権教育推進者の養成 社会教育における人権教育推進者の養成</p> <p>基準値(H24) 48 H25 54</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>徳島県人権教育推進方針に基づき、社会教育における人権教育の推進を図るため指導者の育成、確保等を総合的、体系的に図る指導者研修会を実施する。</p> <p>社会教育における人権教育を推進するため、市町村から推薦のあった推進担当者54名を対象として2日間の継続研修を実施した。「徳島県人権教育推進方針」に基づく人権教育や人権の視点でのまちづくりの講演、市町村における取組についての情報交換を行うとともに、体験的参加型による研修を行い、人権教育推進者の養成と資質向上を図った。</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>48</td> <td>54</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>48</td> <td>48</td> </tr> </table> <p>(単位:人)</p> <p>(成果)6月に「社会教育における人権教育指導者研修会」を2回開催し、外部有識者の意見を頂き、各市町村の諸事業推進に役立つことができた。また、体験的参加型による研修を実施し、人権教育推進者の養成と資質向上を図った。</p> <p>(課題)研修会参加者の経験年数にばらつきがあり、研修の内容に工夫が必要である。また、各市町村の諸事業にどのよう</p> <p>に反映したかを把握する必要がある。研修会の中で情報共有できるように努めたい。</p> <p>毎年約50名の推進者が参加しているが、研修の成果を広めることができるよう、参加者の出席についても引き続き働きかけるとともに、個別人権課題についての研修や体験的参加型研修を実施し、社会教育における人権教育推進者の資質の向上と計画的な推進者の確保につなげる。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	48	54					達成	48	48
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
48	54					達成	48	48													
55	地域の教育に貢献する人材の育成	<p>担当課 生涯学習政策課</p> <p>担当課 人権教育課</p> <p>スキルを社会に還元する機会(県学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト認定数(累計))</p> <p>基準値(H24) 14 H25 41</p>	<p>事業目的と平成25年度の取組状況、評価、今後の取組方針</p> <p>地域教育力再生事業受託など、これまでの学習成果を活かし、学校・家庭・地域の連携を推進し、地域活動の活性化、地域防災の充実につなげることのできる人材を養成する。</p> <p>教員OBをはじめ、防災士の資格を有する方や学校見守り隊、地域自立防災会等に所属する地域の学校応援団である方々を対象に、6日間にわたる「学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト養成講座」を実施し、平成25年度は51名が受講した。そのうち27名を「学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト」として認定した。</p> <table border="1"> <tr> <td>基準値(H24)</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>達成率(H25)</td> <td>目標値(H25)</td> <td>目標値(H29)</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>41</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>達成</td> <td>20</td> <td></td> </tr> </table> <p>(単位:人)</p> <p>(成果)地域の防災、減災をテーマとして実践的な講座を実施することにより、地域で教育支援活動を行っている受講者のスキルアップにつながった。</p> <p>(課題)県内防災生涯学習の拠点小学校への派遣において、認定された学校・家庭・地域連携支援スペシャリスト41名の中から、地域の特性に応じたスペシャリストを選定し、派遣する体制を整備する必要がある。</p> <p>平成26年度から、学校・家庭・地域連携支援スペシャリストを県内の防災生涯学習の拠点小学校区に派遣し、地域住民や保護者と連携・協力して、地域の特性に応じた避難訓練や避難所生活体験等を実施し、学校・家庭・地域が連携した「地域の絆による防災・減災のまちづくり」モデルを構築するよう努める。</p>	基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)	14	41					達成	20	
基準値(H24)	H25	H26	H27	H28	H29	達成率(H25)	目標値(H25)	目標値(H29)													
14	41					達成	20														